

日本農業工学会 第36回シンポジウム開催要領

テーマ： 「みどりの食料システム戦略」に挑戦する新しい農作業研究

趣旨： 2021年5月に農林水産省は「みどりの食料システム戦略」を策定し、我が国の食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する方向性を示しました。この中では、生産基盤の脆弱化や地域コミュニティの衰退、生産・消費構造の変化への対応に加えて、SDGsや環境を重視する国内外の動きへの対応が求められます。そこで、本シンポジウムでは、有機農業や農業のCO₂ゼロエミッション化をはじめとする、みどりの食料システム戦略を視野に入れた農作業研究の最新動向を紹介します。

主催： 日本農業工学会

担当学会： 日本農作業学会

日時： 2021年10月27日 13時00分～16時15分

場所： WEB会議システムによるオンライン配信

※参加方法は、申込者にメールにてお知らせします。

参加申込： 下記Web申し込みページからお申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/147b0cdf715451>

申込締切： 10月20日（水）

講演：

13:00 開会挨拶

日本農業工学会会長 野口 伸（北海道大学）

13:10-13:40 みどりの食料システム戦略への対応

長崎裕司（農研機構）

13:40-14:10 水稲作における温室効果ガス発生低減化技術

林 久喜（筑波大学）

14:10-14:40 サステイナブル スマート農業の実現に向けた電動農機の可能性

上加裕子（愛媛大学）

14:40-15:10 有機栽培における除草機械、ロボットなどを活用した雑草防除法

三浦重典（農研機構）

15:10-15:40 超音波等の物理的刺激を利用した病虫害防除技術の紹介

吉田隆延（農研機構）

15:40-16:10 福島県におけるスマート農業に関する取り組みについて

窪田陽介（福島大学）

16:10-16:15 閉会挨拶

日本農作業学会会長 林 久喜（筑波大学）